

まちづくりニュースは、周辺住民の皆様、市民の方々に、新設小学校工事の進捗状況をお知らせするとともに、小学校開設に向けての取組に関心を持っていただく事を目的とし、まちづくり公社のホームページで配信します。

令和7年4月開校に向けて、 現在、**躯体**工事を進めています

目次

表紙	P.1
I 工事概要 業者紹介	P.2
II 現場レポート 工事状況①	P.3
現場レポート 工事状況②	P.4
III 計画情報 建物配置と動線計画	P.5
計画情報 平面計画 各階諸室	P.6
IV 施工状況写真 お問い合わせ先	P.7

編集：一般財団法人川崎市まちづくり公社
協力：山根・野州・ハヤカワ共同企業体
：株式会社 梓設計

今回、川崎市まちづくり公社は川崎市から要請を受け、新川崎地区新設小学校建設にあたって、立替施行(代行事業)により整備を進めています。

工事に伴い、近接住民の皆様には大変ご迷惑をお掛けしていますが、令和7年4月の開校に向けて、現在、学校建設関連工事(建築・電気・空調・衛生及び昇降機)各請負業者が一丸となって、工事を進めているところです。

立替施行事業とは、市町村と公社との間で協定を締結し、事業主体である市町村に代わり、公社が培ったノウハウを活かし、工事発注から引渡し、事業資金の確保、支払事務まで一貫して市町村の代行を行う。川崎市まちづくり公社は、平成6年度から現在までで小中学校計16校を整備実績。

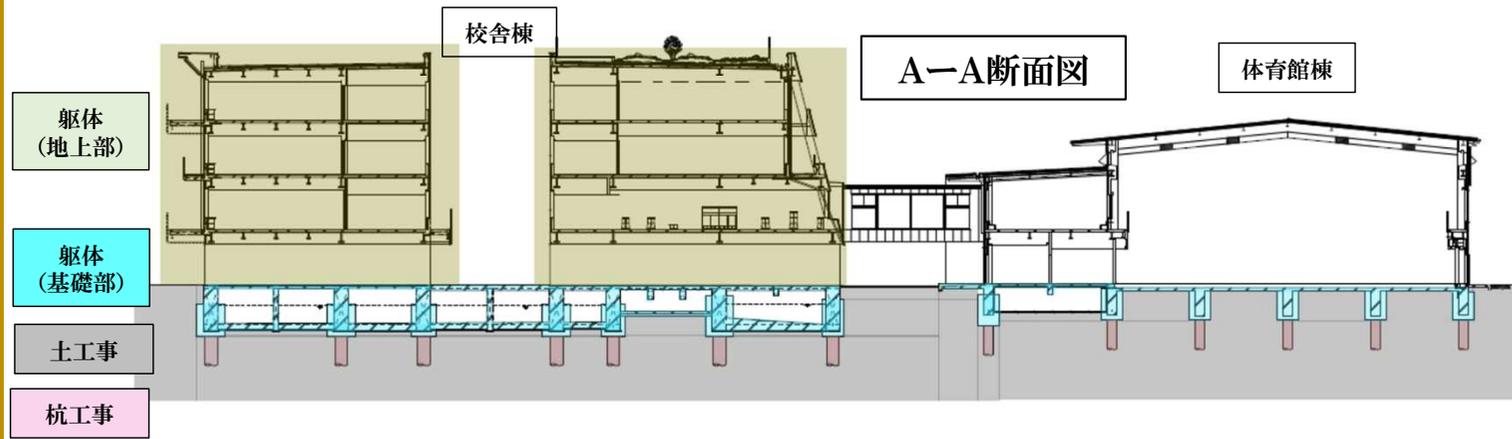
■概略工程表

年	令和5年												令和6年												令和7年			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
	★4/10契約着手																								★1/15完成予定			
準備・仮設工事	←→												←→												←→			
土工事	←→												←→												←→			
杭工事	←→												←→												←→			
躯体工事	基礎部	←→												←→												←→		
	地上部	←→												←→												←→		
内外装仕上工事													←→												←→			
外構工事													←→												←→			
グラウンド整備工事													←→												←→			

3ページ参照

4ページ参照

※現在、躯体工事を行っています。



■敷地・建物概要

計画敷地	川崎市幸区新小倉545番地83, 84, 86
敷地面積	16,751.79㎡
建築面積	6,459.53㎡
延べ面積	17,660.82㎡
規模構造	校舎・体育館：鉄骨造4階建 屋外倉庫：木造平屋建
グラウンド	約 5,000㎡

新設小学校の魅力、特徴とは、

- ・市内で最大規模の小学校となります。
- ・学びや多様な交流、活動の場を提供します。
- ・地域への開放が可能なエリアを配置しています。
- ・環境配慮として、木材利用、雨水利用、太陽光発電設備などを積極的に導入します。
- ・災害時における避難所などの防災機能を整備します。

POINT

下記の請負業者が工事を進めています。

工事区分	請負業者
建築工事	山根・野州・ハヤカワ共同企業体
電気設備工事	丸井・光陽共同企業体
空気調和設備工事	伸栄・笠倉共同企業体
給排水衛生設備工事	研空・京急電機共同企業体
昇降機設備工事	三精テクノロジーズ(株)

配置図

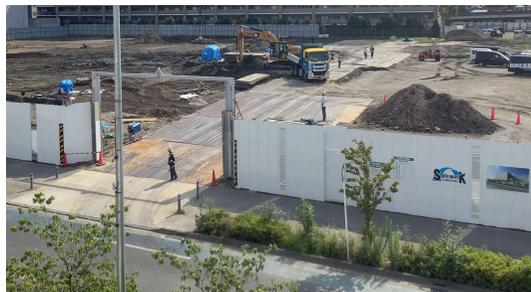


令和5年4月～6月 着手、準備・仮設工事

- ・工事契約・着手 4/10
- ・工事説明 4/27 @日吉出張所会議室 開催
- ・地質(ボーリング)調査、家屋調査等
- ・仮囲い、場内整備(鋤取り、地盤改良等)



地質(ボーリング)調査



仮囲い、場内整備状況

家屋調査とは、

・工事敷地に隣接する家屋、物件に対して、工事による影響を与えたかどうか 正確に判断するための資料を得るため、現在の家屋、物件の状態を調査します。

地盤改良工事とは、

・揚重機等の重機が稼働し、現状地盤が軟弱なため、地盤沈下して転倒しないように防止するものです。

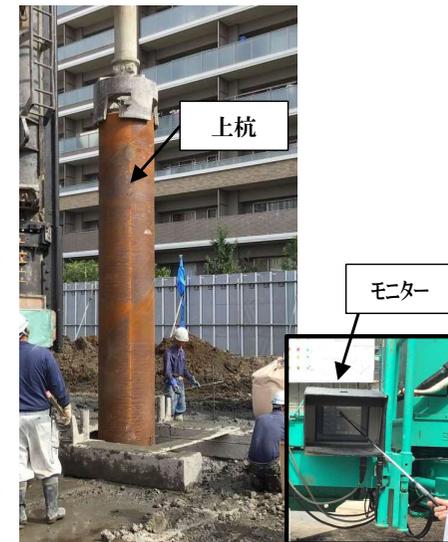
POINT



【杭】既製コンクリート杭製品検査



【杭】埋込み、T・Pジョイント(無溶接継手)



【杭】埋込み、深度計で杭到達深度確認

令和5年7月～10月 土工事・地業工事

【山留工事】

掘削部周辺の山留位置は、校舎棟東・西・北面、体育館棟東・西・南面とし、その他はオープンカット工法としています。

隣地との距離や校舎棟と体育館棟間へ重機等の設置、校舎棟西側へ資機材搬出入に伴い、山留壁を設置する計画としています。

・山留工事ー親杭横矢板工法

準備(山留計算、BMLレベル確認、墨出し)⇒H形鋼の位置⇒打込み⇒掘削⇒矢板入れ

・山留計算書に基づき矢板の選定を行う。

【杭工事】

計画建物は、GL面から一約50mの「細砂、固結シルト層」の支持層まで、杭を到達させています。

・種類工法:既製コンクリート杭 プレボーリング拡大根固め工法

杭径Φ600～1000mm 長さ48～50m 計 144セット(本)

継手方法:T・Pジョイント(無溶接継手)

山留とは、

地盤を掘削するときに周辺地盤を崩さないよう設置する構造物のことです。

支持層とは、

建物を支えるのに十分な固さを持つ地層を指します。

GL(ジーエル)とは、

グラウンドレベル(ライン)といい、地盤面を表しています。

POINT

親杭(H形鋼)



【山留】掘削、親杭(H形鋼)埋込み

【山留】根伐、矢板入れ

令和5年10月～令和6年1月 地業、躯体(基礎部)工事

【工事状況】

- 地業工事(根伐、砕石敷、捨コンクリート、墨出し)
- 杭と基礎フーチング(底辺部):杭頭補強筋取付
- 鉄骨柱脚部:アンカーボルト、ベースプレート取付
- 鉄筋工事(基礎、耐圧版、床版)
- 型枠、コンクリート(基礎、耐圧版、床版)、左官各工事

躯体(くたい)とは、

- 建物の骨格部分を指します。
- 具体的には基礎や壁、柱、床、梁などが躯体に含まれ、建築物そのものや建物内の人や物の重さを支え、台風や地震といった外からの力に抵抗して建物を安全に保つことが躯体の役割です。

躯体工事とは、

建築物の構造部材(躯体)をつくる工事で、地下躯体工事、鉄筋工事、型枠工事、コンクリート工事、鉄骨工事などを言います。

POINT



【鉄骨】製作工場(切断、加工組立)



【鉄骨】製品検査



【鉄骨】建方状況



【鉄骨、鉄筋】
床版デッキ、配筋



【コンクリート、左官】
コンクリート打設後、左官押え

墨出し(墨やペイントで線や寸法等を記す)



【杭】杭頭補強取付(左)
アンカーボルト、ベースプレート取付(右)

【鉄筋】基礎・礎柱配筋、アンカーボルト据付(左)、基礎梁配筋(右)

令和6年2月～4月 躯体(基礎部・地上部)工事

【工事状況】

- 鉄骨工事(製品搬入、鉄骨建方、床版デッキプレート敷設等)
- 鉄筋工事(基礎、耐圧版、地上部-床版、壁立上り)
- コンクリート工事(基礎、耐圧版、地上部-床版、壁立上り)
- 左官工事(床面下地調整)
- 地業工事(親杭引抜き)



【鉄骨】柱脚ボルト締付
柱底均しモルタル



【型枠】組立(基礎部)



【コンクリート】フレッシュコンクリート現場試験



【コンクリート】ポンプ車打込み



【コンクリート、左官】締固め、表面仕上げ

●配置計画

- ・校舎棟と体育館棟は分棟配置しています。
- ・敷地形状に合わせて、北側に体育館棟、南側に校舎棟を配置し、南面はグラウンドを整備します。
- ・駐車場や駐輪場は西側道路側に集約します。

●敷地内の出入口(各門)

- ・西側道路面に北側に**車両門**、中央に**正門**、南側に**メンテナンス門**を設置します。
- ・また、児童の登下校や地域利用に配慮し、正門のほかに敷地南東側に**地域門**を設けます。



西側前面道路から見た校舎外観パース図

●外部動線計画

- ・車両と歩行者の動線を明快に分離し、車両の進入は西側エリアで最小限にします。
- ・**学校プロムナード**と**地域プロムナード**を設け、学校動線と地域利用動線等を明快に区分します。
- ・学校プロムナードと地域プロムナードを繋ぐように校舎を貫通する外部の**コンコース**を設け、グラウンドから体育館までアクセスしやすい動線を確保します。

エコボイド(吹抜部)とは、

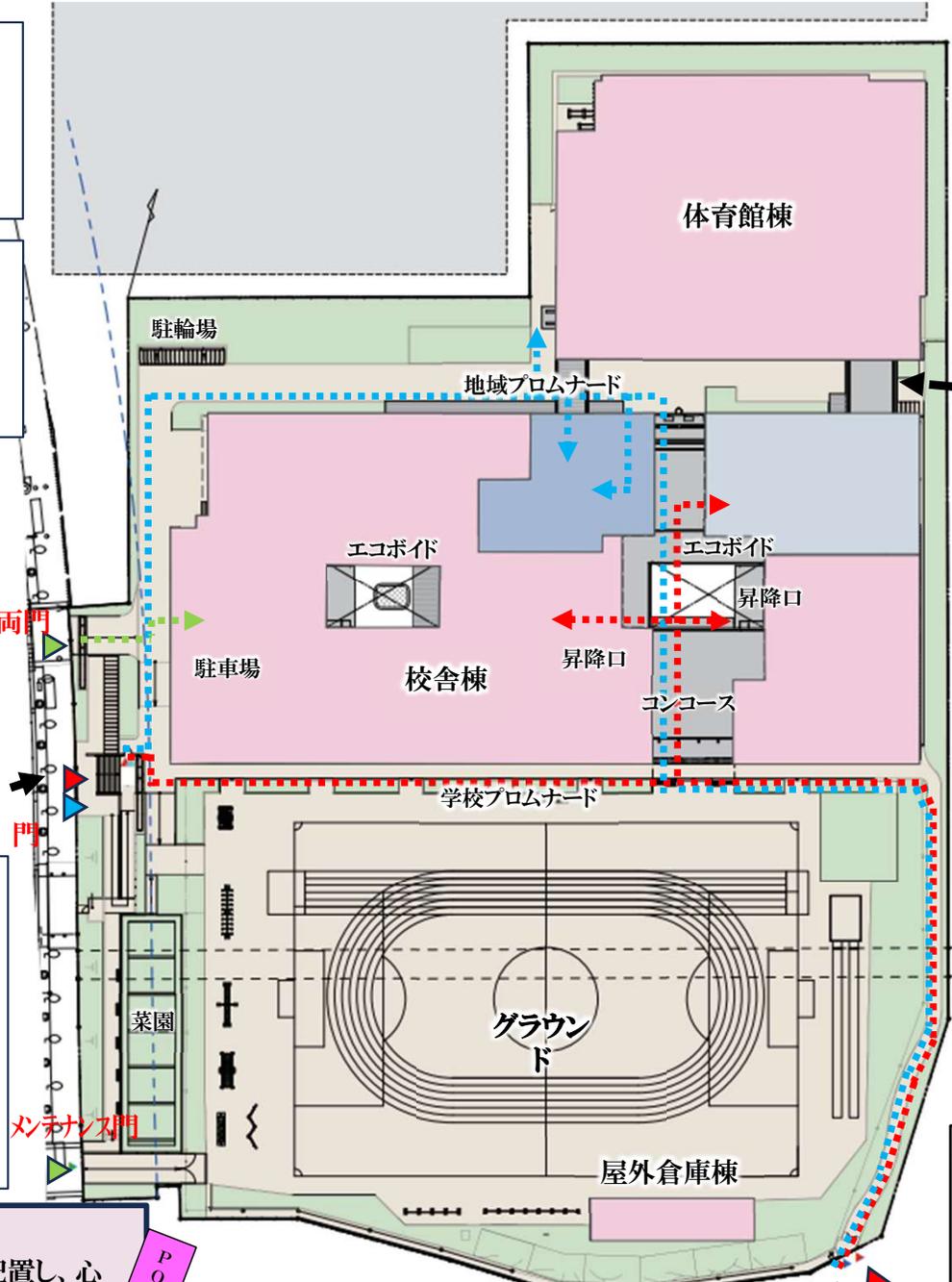
光や風の通り道を設け、普通教室や特別教室を配置し、心地よい室環境により学びを一体的に繋がります。

プロムナードとは、

敷地内や建物内に設けられた散歩道や散策路です。

コンコースとは、

人々が行き交う場、流動を目的として設置する広い空間です。



配置図



体育館棟外観パース図

- 凡例
- ▶ (Red triangle) : 児童出入口 (Children's entrance/exit)
 - ▶ (Blue triangle) : 地域出入口 (Community entrance/exit)
 - ▶ (Green triangle) : 車両出入口 (Vehicle entrance/exit)
 - (Red dashed line) : 学校動線 (School circulation line)
 - (Blue dashed line) : 地域動線 (Community circulation line)
 - (Green dashed line) : 車両動線 (Vehicle circulation line)



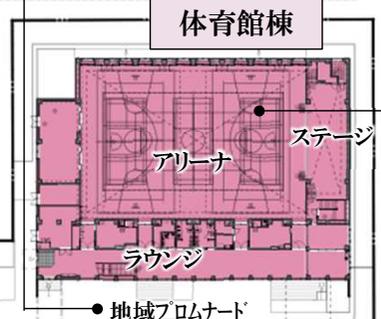
南側グラウンドからの校舎外観パース図

※完成予想図のため、実際と色彩等は異なります



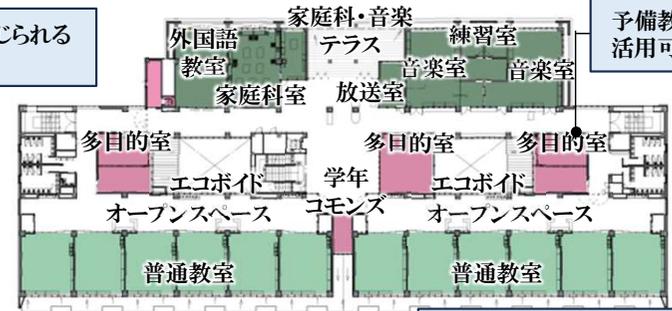
体育館棟 アリーナ内観パース図

体育館や地域活動室、わくわくプラザの活動が、あふれだす地域プロムナード



木の温かみを感じられるアリーナ

予備教室や更衣室として活用可能な多目的室



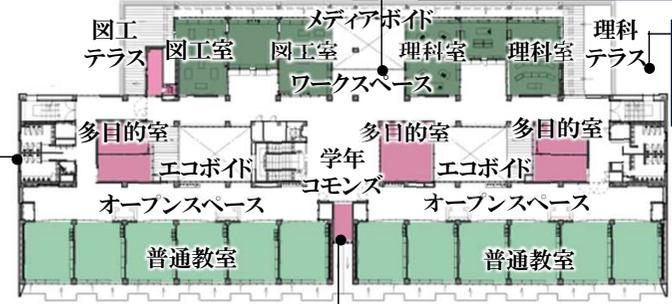
4階

<高学年フロア>

自発的な学びを促進するワークスペース

滞留を緩和した東西トイレ配置

屋上緑化を行い、授業にも活用できる教科テラス



3階

<中学年フロア>

混雑を緩和する分散配置された昇降口

学年間の交流が可能な学年コモンズ

児童の学びの中心となるメディアセンター



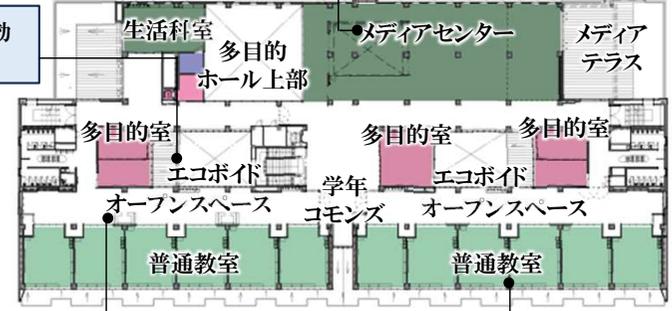
採光や自然換気を効率化するエコボイド

2階

<低学年フロア>

教室と連携し、学びと交流を深めるオープンスペース

南側採光を確保した普通教室

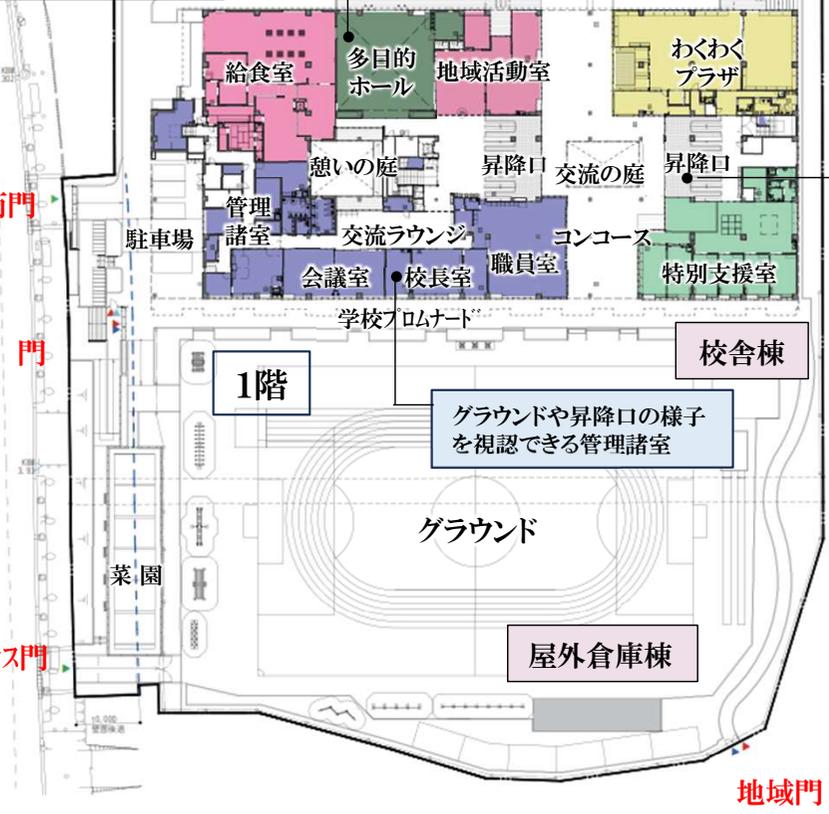


地域活動室とも連携した利用が容易な多目的ホール

車両門

正門

メンテナンス門



地域門

凡例	普通学級	特別教室	その他	わくわくプラザ
	特別支援教室	管理諸室	屋外施設	

※完成予想図のため、実際と色彩等は異なります



校舎棟南側 施工状況写真



全景写真

撮影 令和6年4月中旬

敷地東側から撮影 令和6年3月末

■お問合せ先

発注者
工事施工に関すること
学校新設に関すること

一般財団法人川崎市まちづくり公社
山根・野州・ハヤカワ共同企業体 現場事務所
教育委員会事務局教育環境整備推進室学校整備プロジェクト担当

TEL044-211-2504
TEL044-244-4813
TEL044-200-0753